

楽しみながらエコ意識を高めて!

遊びゴコロでエコゴコロ

兄弟姉妹新聞

〈発行者〉
正木克弥
室愛佳里

エコチェックリスト100(左)とエコカルタ(右下)

兄弟姉妹新聞

エコカルタ

おと年(平成十八年)ぼくたちの家族がやっているエコアクションを書き出して、お兄ちゃんと考えた「エコチェックリスト100」をもとに、「エコカルタ」を作りました。絵札や読み札には、祖父の古い名刺を、表同士はり合わせて、リユースしました。

エコ双六

兄弟姉妹エコすごろく

ルール
①スタート時、何人でも参加OK
②自分のコマがスタートしたマスで一周すればゴール
③他のコマの自分がスタートしたマスで一周すればゴール
④ゴールしたコマはスタートマスに戻す
⑤ゴールしたコマはスタートマスに戻す
⑥ゴールしたコマはスタートマスに戻す

去年(平成十九年)は、エコライフを見つめ直しながら、「エコすごろく」を作りました。サイコロには古い積木を、コマにはペットボトルのキャップを使っています。

地球に優しいことをした水色のマスに止まると、いくつか進めたり、環境に悪いことをしたピンクのマスに止まると、休んだりいくつか戻ります。また、クイズ形式の黄色のマスは、答えられたらさらに進めるルールです。

節水カルタ

表現
切実な思い

兄弟姉妹と

スリランカの皆さん
(東京ビッグサイトにて)

去年の「みどりの小道」環境日記シンポジウムで、環境日記をつけているスリランカの小学生に出会い、話ができなくても、今度会えた時は、一緒にエコカルタをしたいと思いい、兄と姉を中心に、エコカルタの英語版も作りました。

英語版エコカルタ

世界に広げよう

エコロの輪

そして、今年(平成二十年)は、「節水カルタ」を作りました。毎年、バックテストや指標生物による水質調査をしながら、いつまでもきれいな水や空気や土が守られないといけないと思います。

調査後の川遊びも、楽しみのひとつですが、川が汚れていると、虫や魚もいなくなり、遊ばない

もなれませんか。洞爺湖のウィンザーホテルで行われた「こども環境サミットin北海道」では、温暖化で雪が降らなくなると、スキーだけでなく、雪合戦すらもできなくなる日が、いつか来るのかと思うと、みんなエコカルタを合わせて何とか

節水カルタ (室姉妹・絵)

H.18からスタートしたエコ新聞「ケイティシマイ」

ぼくたちができることから、楽しみながら、遊びながら、エコ友をふやせたらいいと思います。一人が百個のエコアクションをがんばるより、百人が一個でもいいから何かエコアクションを始められることを願っています。

編集後記

エコプロダクツや、各地の環境会議での活動がきっかけで、北は北海道から、南は九州まで、一緒に「エコ新聞」を作る仲間ができ、十二月号で第十八号になりました。環境問題という、むずかしく考えがちですが、ぼくたちができることから、楽しみながら、遊びながら、エコ友をふやせたらいいと思います。一人が百個のエコアクションをがんばるより、百人が一個でもいいから何かエコアクションを始められることを願っています。